

エコアクション21

環境経営レポート

2021年4月～2022年3月



認証番号 0011382



すべての人々の幸せと発展のために。

SHINAGAWA

品川グループ エコアクション21事務局

作成日 2022年 8月 26日

改訂日 2022年 9月 22日

— 目 次 —

1. 環境経営方針	P. 1
2. 会社概要	P. 2
3. 環境管理実施体制(組織図)	P. 3
4. 環境管理実施体制における役割	P. 5
5. 環境経営目標と実績	P. 6
6. 環境経営目標の中長期目標	P. 7
7. 環境経営計画・評価と今後(次年度)の取り組み	P. 8
8. 環境活動取り組み事例	P. 9
9. 環境関連法規の遵守、違反・訴訟等の有無	P. 14
10. 代表者による見直し	P. 15

1. 環境経営方針

<基本理念>

立山連峰から富山湾に至るまで、自然豊かな変化に富んだ地形を持った富山県に於いて事業を展開している品川グループは、環境問題への対応を経営の重要課題として位置づけ、自動車および産業車両・タイヤ・石油製品の販売・整備・レンタル・リースなど自動車関連事業全般を通じて環境負荷の低減と社会貢献活動に積極的に取り組みます。

今までもこれからも、私たち品川グループは、自動車および自動車関連事業を通じて、関係するすべての人々の、幸せと発展に寄与していきます。

<基本方針>

1. 事業活動が環境に与える影響を正しく認識し、全社員で継続的な環境改善行動に努めます。
2. 環境に関する法令・規則・富山県条例等および自主基準を遵守し、環境保全レベルの向上を図ります。
3. 事業活動におけるすべての分野で、電力使用量、ガソリン使用量、水使用量などの節減、化学物質の適正管理及び、廃棄物排出量の削減とリサイクルを推進します。
4. お客様に車の環境情報を積極的に提供して、低燃費車、低公害車の普及をはかるとともにエコドライブの実践等、CO₂排出量の削減を目指します。
5. 定期的に環境監査を実施して、環境管理の維持向上に努めます。
6. 環境に配慮した販売とサービスおよび物品購入の拡大を推進します。
7. 地域社会とのコミュニケーションを大切にし、地域の環境保護活動に協力します。
8. 全社員がこの環境方針を理解し、環境保全の向上と活動の実践を図ります。

平成27年11月 4日 制定
令和 3年 1月 8日 改定

品川グループ 代表
株式会社品川グループ本社 代表取締役
品川 祐一郎

2. 品川グループ概要

< 概要 >

品川グループは、1917年(大正6年)10月に創業者の品川忠蔵がタクシー事業として品川自動車商会を設立したのが起源となっている。タクシーのほかに1920年には乗合バス事業にも参入。

バス事業は1932年6月22日に富山電鉄自動車(現在の富山地方鉄道)へ譲渡している。自動車輸送が原点となり、その後自動車販売や自動車関連事業を展開。現在のトヨタ自動車の販売網のルーツは、1946年の富山トヨタ自動車販売(現在のトヨタモビリティ富山)の設立が起源となっている。現在はトヨタ自動車のディーラー、ダイハツ工業のディーラー、トヨタレンタリースなどの自動車関連の企業などで構成される企業グループとなっている。

< 沿革 >

2017年(平成29年)1月1日に、グループを持株会社へ移行し、グループ統括会社として株式会社品川グループ本社を設立した。

< グループ企業 > 2021年時点

自動車販売・整備

トヨタモビリティ富山株式会社

創業: 1917年10月(品川自動車商会)

設立: 2021年1月(富山トヨタ自動車株式会社、富山トヨペット株式会社、ネットトヨタノヴェルとやま株式会社を統合合併)

資本金: 8000万円

従業員数: 624人

富山ダイハツ販売株式会社

設立: 1932年7月(品川自動車株式会社)

- 品川グループ創業時の品川自動車商会が起源となっている。

資本金: 2000万円

従業員数: 192人

自動車レンタル・リース

株式会社トヨタレンタリース富山

設立: 1967年10月12日(株式会社トヨタレンタカーサービス富山)

資本金: 2000万円

従業員数: 103人

産業機械

トヨタL&F富山株式会社

設立: 1986年7月(富山トヨタフォークリフト株式会社)

資本金: 3000万円

従業員数: 63人

山室重機株式会社

設立: 1968年10月(山室トヨタ重機株式会社)

資本金: 1000万円

従業員数: 27人

本社・富山営業所: 富山県富山市山室新町41番地

その他

株式会社品川グループ本社

事業概要: グループ各社の統括、不動産管理・賃貸

設立: 1990年3月(株式会社トコシー)

資本金: 8000万円

従業員数: 181人

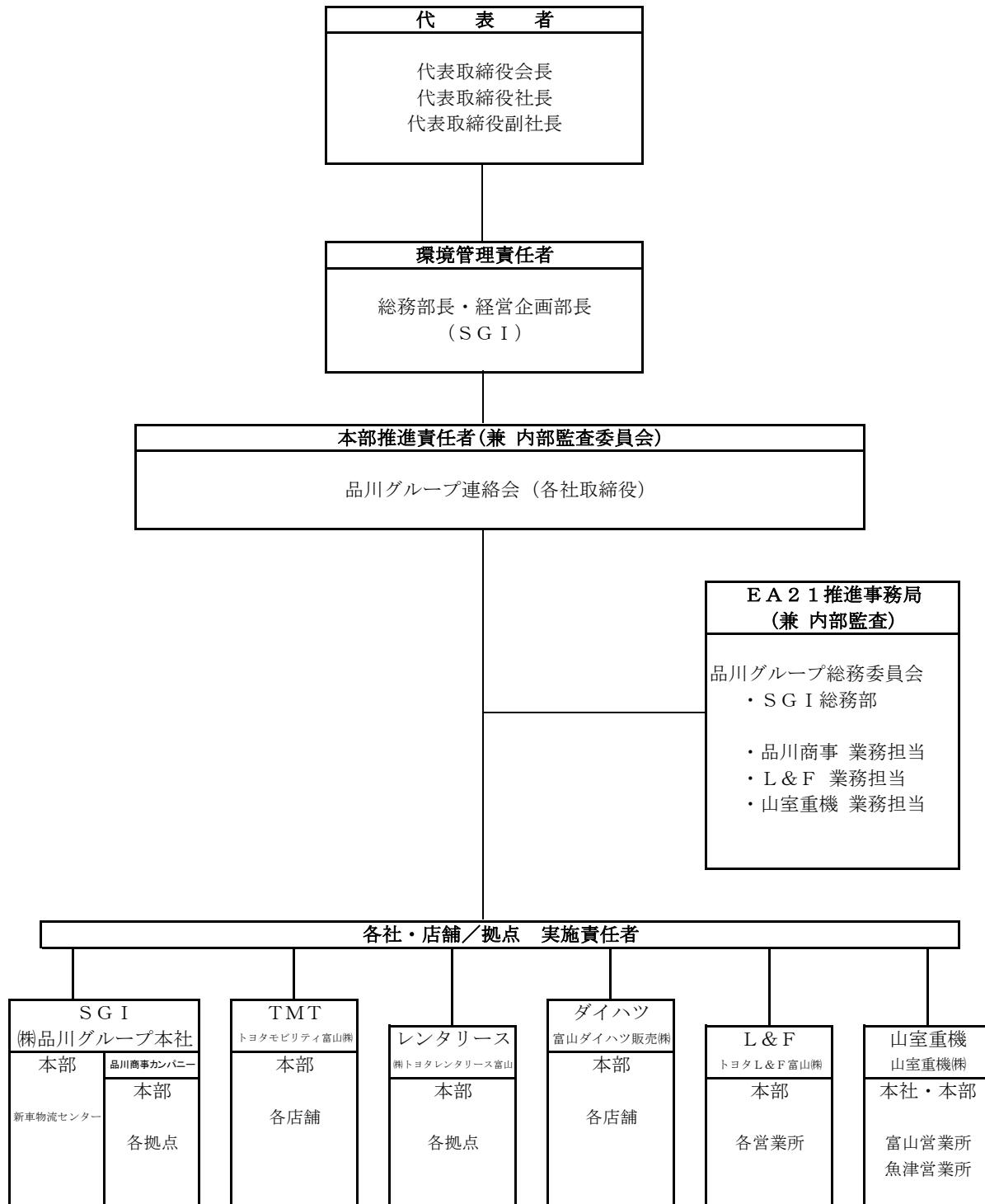
本社: 富山県富山市千歳町2丁目5番26号

社内カンパニー:

トコシーカンパニー(不動産管理・賃貸など)

品川商事カンパニー(ENEOSブランドのガソリンスタンド、ダンロップの店舗運営)

3. 環境管理実施体制（組織図）



※全組織・全活動をエコアクション21の対象とする

品川グループ 本社/店舗・営業所 一覧

令和 4年 1月 1日現在

株式会社品川グループ本社						
本社	930-0018	富山市千歳町二丁目5番26号	076-444-4141	65		※1
ウィズキッズしながわ	930-0018	富山市千歳町三丁目7番31号	076-432-6625	15		
新車物流センター	930-0275	中新川郡立山町利田214番1	076-462-0753	40		
品川商事カンパニー						
本部・タイヤセレクト富山	930-0019	富山市弥生町2丁目4番1号	076-431-8766	7		
富山営業所	930-0992	富山市新庄町1番地の4	076-493-1500	14		
高岡営業所	933-0946	高岡市昭和町2丁目1番32号	0766-22-8479	7		
魚津営業所	937-0018	魚津市西尾崎1563番地	0765-22-5142	6		
砺波営業所	939-1363	砺波市太郎丸3丁目50番地	0763-32-1541	5		※2
本町SS	930-0029	富山市本町6番17号	076-432-2602	6		
牛島SS	930-0856	富山市牛島新町4番4号	076-432-2626	5		
根塚SS	939-8204	富山市根塚町4丁目3番地2	076-493-3111	5		
魚津SS	937-0805	魚津市本江1118番地	0765-22-1572	6		

トヨタモビリティ富山株式会社						
本社・本部	930-0018	富山市千歳町二丁目5番26号	076-432-4141	42		※1
中古車部・中古車Garage新庄商品化センター	930-0992	富山市新庄町四丁目3番8号	076-422-2856	20		※3
販売店営業部	939-8558	富山市山室新町41番地	076-420-4200	15		※6
法人営業部	930-0884	富山市五福末広町1238番地	076-431-8115	35		※4
ランドマークSOTY(双代)	930-0971	富山市双代町1番6号	076-424-2401	32		
ランドマークSOTY 稲荷	930-0012	富山市稲荷町4丁目9番11号	076-439-8118	13		
Gスクエア五福	930-0884	富山市五福末広町1238番地	076-431-8117	42		※4
Y-town山室	939-8558	富山市山室新町41番地	076-492-1111	41		※6
富山インター	939-8071	富山市上袋681番地	076-421-5055	20		
富山南	939-8214	富山市黒崎128番地1	076-421-8110	16		
掛尾	939-8215	富山市掛尾栄町5番5	076-491-6677	16		
富山みらい北	931-8326	富山市上野新町7番58号	076-438-4545	18		
高岡	933-0954	高岡市美幸町1丁目1番72号	0766-23-5115	45		
高岡サテライト	933-0947	高岡市本郷1丁目1番1号	0766-21-4143	5		※8
高岡駅南	933-0813	高岡市下伏間江363番地	0766-26-8881	16		
S e u l 高岡南	933-0822	富山市十二町島85番地	0766-63-5211	17		
小杉	939-0351	射水市戸破1723番1	0766-57-1414	17		
砺波インター	939-1363	砺波市太郎丸三丁目50番地	0763-33-4141	17		※2
砺波中央	939-1377	砺波市寿町2番46号	0763-33-5171	18		
魚津	937-0805	魚津市本江1063番地	0765-24-1616	33		
黒部	938-0801	黒部市荻生8727番地1	0765-54-3111	24		
中古車Garage富山	930-0985	富山市田中町四丁目18番35号	076-433-4141	13		※5
中古車Garage山室	939-8558	富山市山室新町41番地	076-424-7150	0		※6
中古車Garage富山南	939-8222	富山市蛸川120番地1	076-425-1200	6		
中古車Garage高岡	933-0824	高岡市西藤平蔵642番地	0766-63-4433	19		
レクサス富山	930-0985	富山市田中町5丁目2番6号	076-491-4141	26		
レクサスCPO富山	930-0975	富山市西長江1丁目2番6号	076-423-4143	12		
中古車Garage射水商品化センター	939-0243	射水市下若30-1	0766-52-7602	7		
中古車Garage富山南テクノショップ	939-8222	富山市蛸川271番1	076-429-1363	5		
富山ボデーテクノセンター	930-0985	富山市田中町1丁目16番40号	076-432-8255	23		
高岡ボデーテクノセンター	933-0947	高岡市本郷1丁目1番1号	0766-21-4146	11		※8

株式会社トヨタレンタリース富山						
(本社)	930-0018	富山市千歳町二丁目5番26号		0		※1
営業本部	930-0884	富山市五福末広町1238番地	076-432-8147	35		※4
富山店	930-0029	富山市本町6-18	076-432-0100	24		
富山駅前店	930-0007	富山市宝町1-1-12	076-433-0100	11		
富山空港店	939-8252	富山市秋ヶ島81-3	076-429-8888	5		
双代町店	930-0985	富山市田中町4丁目15-13	076-442-0100	6		
黒部宇奈月温泉駅前店	938-0802	黒部市若栗3255	0765-52-0100	6		
高岡店	933-0878	高岡市東上関326	0766-21-0100	10		
新高岡駅前店	933-0852	高岡市下黒田3016	0766-26-1070	6		

富山ダイハツ販売株式会社						
本社	930-0018	富山市千歳町二丁目5番26号	076-442-1441	24		※1
富山店	930-0985	富山市田中町五丁目2番21号	076-425-6615	50		
グランジュエル富山今泉店	939-8281	富山市今泉西部町3番12	076-493-6550	16		
富山南店	939-8177	富山市安養寺465番地の1	076-428-0505	18		
高岡店	933-0947	高岡市本郷一丁目3番7号	0766-21-2433	30		
高岡南店	933-0806	高岡市赤祖父714番地	0766-21-0500	14		
魚津店	937-0017	魚津市江口1101番地の3	0765-24-1771	19		
砺波店	939-1364	砺波市豊町一丁目15番15号	0763-33-4023	21		
アクセル富山店	930-0985	富山市田中町四丁目18番35号	076-442-2310		統合・閉店	※5
研修センター	930-0992	富山市新庄町四丁目3番8号	076-422-2066	0		※3

トヨタL&F富山株式会社						
(本社)	930-0018	富山市千歳町二丁目5番26号		0		※1
営業本部・富山営業所	930-0985	富山市田中町四丁目18番30号	076-439-3333	35		
高岡営業所	933-0073	高岡市荻布字前向174番1	0766-22-7373	20		
魚津営業所	937-0017	魚津市江口454番地	0765-22-1238	8		※7

山室重機株式会社						
本社・富山営業所	939-8008	富山市山室新町41番地	076-424-1611	21		※6
魚津営業所	937-0017	魚津市江口454番地	0765-24-7166	6		※7

※1～※8：同一敷地内

4. 環境管理実施体制における役割

令和 4年 1月 1日現在

担当	役割・責任・権限
<p>代表者 (SGI社長)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境管理責任者を任命 ・環境方針の策定・見直し ・環境活動の実施に必要な人材、設備、費用、時間の準備 ・代表者による全体の評価と見直し
<p>環境管理責任者 (管理部門責任者)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・環境活動の構築、実施、管理 ・環境目標・環境活動計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境活動レポートの確認
<p>本部推進責任者</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自社／自部門における環境活動の責任者 ・自社／自部門における環境方針の周知 ・自社／自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自社／自部門の従業員に対する教育訓練の実施
<p>内部監査委員会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・内部監査に基づき改善が必要な事項に対する進捗状況及び改善の確認 ・内部監査の結果及び是正措置等を代表者へ報告
<p>EA21推進事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック、環境への取組の自己チェックの実施 ・環境目標、環境活動計画原案の作成 ・環境活動の実績集計及び文書類等の作成、保管 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境レポートの作成、公開
<p>内部監査</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・内部監査計画の策定 ・環境活動の実施状況を監査 ・内部監査結果に基づき改善が必要な事項に対する進捗状況及び改善の確認
<p>各社・店舗／拠点 実施責任者</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自店舗／自拠点における環境活動の責任者 ・自店舗／自拠点における環境方針の周知 ・自店舗／自拠点の問題点の発見、是正、予防措置の実施
<p>全社・全従業員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

5. 環境経営目標と実績

項目	暫定基準 (前年2019年度)	本年度目標 (2021年度)	本年度実績 (2021年度)	達成率	削減率	達成度		
環境パフォーマンスの向上	1. 省エネルギーの推進	総量	総量	総量				
	CO2排出量の低減 ・CO2	総量	基準年度 2019年 削減率2% 総量 6,921,456 kg-CO2	目標 削減率2% 6,513,726 kg-CO2	106.3%	92.2%	○	
		電力	(kwh) 6,574,437	※注1 6,442,948	※注2 8,109,723	79.4%	123.4%	×
		都市ガス	(Nm ³) 47,402	46,454	33,543	138.5%	70.8%	○
		LPG	(kg) 6,665	6,532	4,754	137.4%	71.3%	○
		ガソリン	(L) 959,812	940,616	834,415	112.7%	86.9%	○
		軽油	(L) 205,838	201,721	193,975	104.0%	94.2%	○
		灯油	(L) 7,402	7,254	4,235	171.3%	57.2%	○
		2. 廃棄物の低減	総量	目標削減率 2%	目標削減率 2%			
	① 一般廃棄物	総量	目標削減率 2%	目標削減率 2%				
		166,305	総量 162,979 kg	総量 139,261 kg	117.0%	83.7%	○	
	② 産業廃棄物	総量	目標削減率 2%	目標削減率 1%				
		424,431 kg	総量 415,942 kg	総量 527,431 kg	78.9%	124.3%	×	
	3. 水使用量の削減	水使用量	総量	削減率 2%	目標削減率 5%			
			48,445 m ³	総量 47,476 m ³	総量 71322 m ³	66.6%	147.2%	×
4. 化学物質使用量の適正管理	塗装用シンナーの適正管理(と削減)	総量	適正管理 (水性塗料に切替)	適正管理 (水性塗料に切替)				
		kg	kg	kg				
5. グリーン購入の推進	現状調査	事務用品14品目増	現状調査			—		
6. 環境配慮型製品・サービスの促進	定性的な実施・継続		・エコカーの販売 ・「マイルート」事業参加 ・「エコ通勤」取組開始			—		
その他	社会貢献活動等 トヨタ Social Fes 献血運動 クリーン大作戦 ライトダウンキャンペーン	トヨタ Social Fes 献血運動 クリーン大作戦	トヨタ Social Fes 献血運動 クリーン大作戦 ライトダウンキャンペーン			△		

(注1) 基準値・目標値の購入電力の排出係数は北陸電力平成28年度版 0.624 kg-CO₂/kWhを使用した。
(注2) 実績値の購入電力の排出係数は北陸電力2021年度版 0.484 kg-CO₂/kWhを使用した。

* 達成度について
○: 目標達成(100%以上)
△: 目標未達(90%以上)
×: 目標未達(90%未満)

×項目について
・電力は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からエアコンと換気を併用した為に増加
・産業廃棄物は店舗の新築や増築工事に伴い増加
・水使用量は店舗新築工事の際に井戸が一時的に使えず水道使用量が増加

6. 環境経営目標の中長期目標

項目	暫定基準 (2019年度)	1年目目標 (2020年度)	2年目目標 (2021年度)	3年目目標 (2022年度)	4年目目標 (2023年度)	5年目目標 (2024年度)	
環境パフォーマンスの向上	1. 省エネルギーの推進	総量	総量	総量	総量	総量	
	CO2排出量の低減・CO2	総量 7,062,710 kg-CO2	基準年度 2019年 削減率1% 総量 6,992,083	基準年度 2019年 削減率2% 総量 6,921,456	基準年度 2019年 削減率3% 総量 6,850,829	基準年度 2019年 削減率4% 総量 6,780,202	基準年度 2019年 削減率5% 総量 6,709,575
	電力	(kwh) 6,574,437	6,508,693	6,442,948	6,377,204	6,311,460	6,245,715
	都市ガス	(Nm ³) 47,402	46,928	46,454	45,980	45,506	45,032
	LPG	(kg) 6,665	6,598	6,532	6,465	6,398	6,332
	ガソリン	(L) 959,812	950,214	940,616	931,018	921,420	911,821
	軽油	(L) 205,838	203,780	201,721	199,663	197,604	195,546
	灯油	(L) 7,402	7,328	7,254	7,180	7,106	7,032
	2. 廃棄物の低減	総量	削減率 1 %	削減率 2 %	削減率 3 %	削減率 4 %	削減率 5 %
	① 一般廃棄物	総量 166,305	削減率 1 % 総量 164,642	削減率 2 % 総量 162,979	削減率 3 % 総量 161,316	削減率 4 % 総量 159,653	削減率 5 % 総量 157,990
	② 産業廃棄物	総量 424,431 kg	削減率 1 % 総量 420,187 kg	削減率 2 % 総量 415,942 kg	削減率 3 % 総量 411,698 kg	削減率 4 % 総量 407,454 kg	削減率 5 % 総量 403,209 kg
	3. 水使用量の削減	総量	削減率 1 %	削減率 2 %	削減率 3 %	削減率 4 %	削減率 5 %
水使用量	総量 48,445 m ³	削減率 1 % 総量 47,961 m ³	削減率 2 % 総量 47,476 m ³	削減率 3 % 総量 46,992 m ³	削減率 4 % 総量 46,507 m ³	削減率 5 % 総量 46,023 m ³	
4. 化学物質使用量の適正管理	総量	削減率 適正管理	削減率 適正管理	削減率 適正管理	削減率 適正管理	削減率 適正管理	
塗装用シンナーの適正管理(と削減)	総量 kg	削減率 (水性塗料に切替) 総量 kg	削減率 (水性塗料に切替) 総量 kg	削減率 (水性塗料に切替) 総量 kg	削減率 (水性塗料に切替) 総量 kg	削減率 (水性塗料に切替) 総量 kg	
5. グリーン購入の推進	現状調査	事務用品5品目増	事務用品7品目増	事務用品10品目増	事務用品14品目増	事務用品20品目増	
6. 環境配慮型製品・サービスの促進	定性的な実施・継続						
その他	社会貢献活動等	トヨタ Social Fes 献血運動 クリーン大作戦 ライトダウンキャンペーン	トヨタ Social Fes 献血運動 クリーン大作戦 ライトダウンキャンペーン	トヨタ Social Fes 献血運動 クリーン大作戦 ライトダウンキャンペーン	トヨタ Social Fes 献血運動 クリーン大作戦 ライトダウンキャンペーン	トヨタ Social Fes 献血運動 クリーン大作戦 ライトダウンキャンペーン	

※原単位は売上以外でも可

(注) 購入電力の排出係数は北陸電力平成28年度版 0.624 kg-CO₂/kWhを使用した。

7. 環境経営計画・評価と今後(次年度)の取り組み

1. 電気使用量の削減

取組事項	活動の評価	今後(次年度)の取り組み
空調機器の温度管理継続 夏季 26℃ 冬季 22℃ の徹底 クールビズ・ウォームビズの実践 ※店頭ポスターでお客様への呼掛け 気候に合わせて計画の随時見直し 窓側照明・不在時の消灯の徹底 拠点別の光熱費の意識付けによる削減 残業削減によるエネルギー使用削減	△ △ △ ○	感染対策(空調と換気)のため使用量増加 スタッフやお客様の健康を最優先し、 新型コロナ感染防止と並行できる ルールの策定と運用 天気予報を参考に計画的に実施 意識付けして実施 好事例を他拠点に展開しながら継続 実残業管理・定時フル稼働の継続実施

2. ガソリン・軽油の削減

取組事項	活動の評価	今後(次年度)の取り組み
社内でのエコドライブの推進	○	環境に配慮した車・産業車両の増加・活用
社員の店舗移動減を推奨	○	合併・Web会議推進による効率化 ウィズコロナに向けた取組みで移動量削減

3. 都市ガス・水使用量の削減

取組事項	活動の評価	今後(次年度)の取り組み
拠点別の工夫の好事例を 他拠点・グループ各社にも展開	○	拠点巡回で好事例をグループ内で共有 継続実施でより高いレベルで展開 店舗・会社間の相互チェックで意識向上

4. 廃棄物排出量の削減

取組事項	活動の評価	今後(次年度)の取り組み
産業廃棄物の適正な管理・分別 一般廃棄物の削減に取組む	△	各店舗で無駄を減らす仕組み作り 廃棄物の分別の徹底

5. 化学物質の適正管理

取組事項	活動の評価	今後(次年度)の取り組み
適正な管理と使用量の削減・確認 消防避難訓練の継続実施・展開	○ △	使用量を削減し、継続して適正に管理 機器の点検も並行して実施

6. グリーン購入の推進

取組事項	活動の評価	今後(次年度)の取り組み
現状の可視化と意識付け	△	合併に向けて業務効率化の中で、 文房具等購入基準の見直しを実施

7. 社会貢献活動の継続

取組事項	活動の評価	今後(次年度)の取り組み
クリーン大作戦の実施(毎月一回) 献血活動 トヨタ Social Fes ライトダウンキャンペーン	○	新型コロナウィルス感染拡大防止を優先し、 可能な範囲で継続して実施 ウィズコロナ・アフターコロナの中で可能な 新たな取組みを考える 店舗独自の取組みを増加 グループ内他社と連携して取り組む

※次年度の目標

グループ会社再編・業務の集約化が進む中で、エコアクション21の活動を一体化し各社各店舗の弱い部分を補完しながら実施している。
今後のグループの協業化・効率化に併せて展開を進める。
新型コロナウィルスの影響がまだ残る中、環境負荷の削減に関しては感染拡大防止を優先しつつ引き続き取り組む。

8. 環境活動取り組み事例

1. グループ会社再編・新たな取り組み 2021年1月 トヨタモビリティ富山(株)発足



2. 献血運動の継続実施(7月)



3. クールビズ(5月～10月)

高川グループ各社
管理責任者・従業員各位

令和3年 4月21日
高川グループ 総務部

服装についてのご案内

標記の件、地球温暖化防止および省エネルギー対策の一環として夏場の電力消費量抑制の為、下記の期間をクールビズとしますのでご案内いたします。店頭ポスターで案内するなど、対応をお願い致します。

記

期 間 ・令和3年5月1日 ～10月31日

身だしなみ ジャケット無・ノーネクタイを基本とし、各社のスタイルにて実施

・冷感時はジャケット、インナー、防寒層等で調整して下さい

・新型コロナウイルス感染症大対策の為、密を避けする等、十分な換気を行って下さい。天気予報等を参考に、暑さ寒さへの対策を各自でお願いします。

・冷房使用時の設定を26℃とし、扇風機の配慮をお願いします。

・お客様に失礼のない、清潔感のある服装をお願いします。

以上

4. 消防設備点検・避難訓練実施(各拠点)



5. エコアクション21 グループ審査を通して取組みの一元化



6. 植樹・緑化推進



7. 各拠点ごとの地域清掃活動等



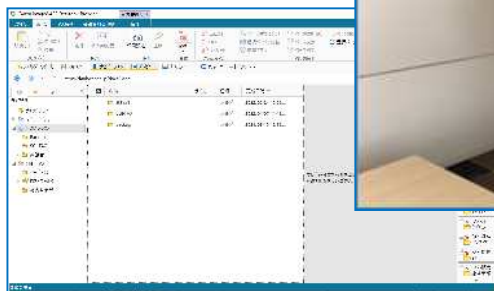
8. エネルギー消費削減(各拠点)



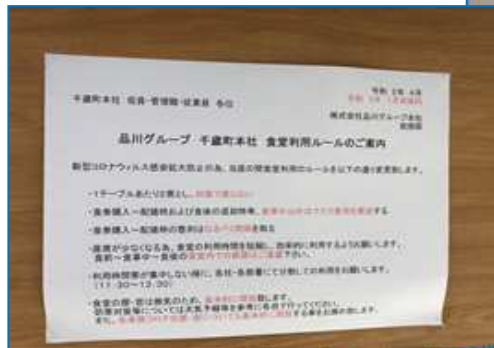
8. 1各拠点巡回による現況確認



9. Web活用・ペーパーレスの推進



10. 新型コロナウイルス感染拡大防止



10.1 ワクチン職域接種



12. 今後

BPセンター運用開始(2022. 04)

トヨタモビリティ富山・レンタリース事業合併(2022. 04)

9. 環境関連法規の遵守、違反・訴訟等の有無

1. 当社に適用となる主な環境関連法規制等

法律・条令等		要求事項	
廃棄物	廃棄物処理法	・産業廃棄物の適正処理 ・収集、運搬、処理委託業者との契約締結 ・マニフェスト交付状況の報告	
	プラスチック資源循環法	・プラスチック廃棄物排出抑制・再資源化 (R4.4.1)	
水質	水質汚濁防止法	・公共用水域に配水する特定施設の設置届出	
	下水道法	・下水道への不適物放流禁止の順守	
	浄化槽法	・保守点検ならびに水質検査の実施	
大気	自動車Nox・PM法	・自動車排出窒素酸化物の排出抑制に努める	
騒音	騒音規制法	・規制基準の順守 ・騒音発生施設の設置の届出 (R4.12.1)	
振動	振動規制法	・規制基準の順守 ・振動発生施設の設置の届出 (R4.12.1)	
化学物質	労働安全衛生法	・化学物質等の有害性等の調査及び健康障害防止措置	
	化管法 (PRTR法)	・事業者による化学物質の自主的な管理の改善を促進 (R5.4.1)	
	消防法 (地方火災予防条例)	・指定数量内貯蔵の厳守と有資格者の配置及び届出	R3.4.1
再資源化	自動車リサイクル法	・使用済自動車の廃棄引渡業務の履行	
温暖化	フロン排出抑制法	・簡易点検及び定期点検の実施 ・機器の廃棄時のフロンの回収依頼 (引取証明書の受領等)	

2. 順守状況及び違反、訴訟等の有無

当社は、自社の遵守状況評価で問題が無い事を確認しました。
尚、環境関連法規への違反はありませんでした。
関係当局より違反等の指摘も過去3年間ありませんでした。

10. 代表者による見直し

代表者

品川

代表者による全体の評価と見直し記録

実施日： 2022年 8月 24日

管理責任者の報告及び改善への提案	代表者のコメント		
[環境指標の達成状況]	変更の必要性:	<input checked="" type="checkbox"/> 有り	<input type="checkbox"/> 無し
10項目中6項目達成 電力: ×, 都市ガス: ○, LPG: ○, ガソリン: ○, 軽油: ○ 灯油: ○, 一般廃棄物: ○, 産業廃棄物: × 水使用量の削減: ×, 社会貢献活動等: △	新型コロナウイルスの感染拡大防止を優先した為、環境負荷削減の取組が相対的に低下。引き続き、換気や手洗いなどの感染拡大防止と並行して環境負荷削減を両立を目指す。		
[環境取組みの達成度と課題、今後の活動予定]	変更の必要性:	<input checked="" type="checkbox"/> 有り	<input type="checkbox"/> 無し
12項目中5項目達成 空調機器の温度管理: △ 窓側照明・不在時の消灯の徹底: △ 拠点別の光熱費の意識付けによる削減: △ 残業時間によるエネルギー使用削減の推進: ○ 社内でのエコドライブの推進: ○ 社員の店舗移動の乗合いと回数減を推奨: ○ 拠点別の好事例を多拠点・グループ他社に展開: ○ 産業廃棄物の適正な管理・分別: △ 化学物質の適正な管理と使用量の削減: △ 全店舗避難訓練の実施: △ グリーン購入の意識付け: △ 社会貢献活動の継続: ○	昨年度に続いて新型コロナ禍が長引く中で換気しながら空調を使うなどの矛盾も発生。また、温暖化による猛暑や大雨など、自然環境の影響が年々大きくなっている。 一方でWeb会議の推進やペーパーレスなど、コロナ禍を機に見直しが進んだ事もある。 グループ会社合併・業務効率化の利点を活かして今後もグループとしての活動を推進していく。		
[法規制の変更と遵守状況]	変更の必要性:	<input type="checkbox"/> 有り	<input checked="" type="checkbox"/> 無し
問題無し	今後も法改正を確認しながら法規制を遵守する		
[内部監査の結果と是正状況]	変更の必要性:	<input type="checkbox"/> 有り	<input checked="" type="checkbox"/> 無し
問題無し	今後も店長・本部が協力して継続してチェックし更に改善を続ける		
[外部からの苦情と対応]	変更の必要性:	<input type="checkbox"/> 有り	<input checked="" type="checkbox"/> 無し
該当なし	地域清掃等を通して近隣とのコミュニケーションが、取られている。今後も「苦情」という形になる前に適切な対応を取るよう心掛ける		
[総括]	<p>長く新型コロナ感染拡大防止の対応と並行して今できる最善の方法を模索が続いています。その様な中、「安全・整備品質・環境活動定着確認チェックシート」などを用いたチェックを行い、化学物質の適正な使用・管理など、法令を遵守しながらの活動を行っています。グループ会社の再編が続く中、新しい生活様式に沿って、環境に対してもグループとしての好事例の展開と効率化を目指します。</p>		

担当者: 牧村
連絡先: makimura@shinagawa-group.co.jp